

# 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査の「自動集計分析ソフト」の「説明書」

## 1 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査の「自動集計分析ソフト」とは？

- ・ 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査は、要介護状態になる前の高齢者のリスクや社会参加状況を把握することで、地域診断に活用し、地域の抱える課題を特定するとともに、介護予防・日常生活支援総合事業の評価に活用することが可能です。
- ・ 一方で、設問数が多く、特に日常生活圏域別の集計には大きな手間がかかります。
- ・ 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査の「自動集計分析ソフト」は、介護予防・日常生活圏域ニーズ調査の集計分析の負担を軽減するため、「①データ入力支援ファイルの読み込み」、「②圏域名の設定」、「③アンケート調査結果のチェック」、「④集計・グラフの作成」、「⑤Word ファイルへの出力」を自動で行うことができるソフト(Excel マクロ)です。
- ・ 2023 年3月より、提供を開始しました。

## 2 どの PC でも使用できるの？

- ・ Office2013、2016、2019、Office365(32 ビット版／64 ビット版)の各バージョンで動作確認を行いました。
- ・ ただし、PCのメモリ不足や、分析を行う環境によってはエラーが発生する場合もございます。エラーが発生した場合は、使用するPCや分析環境を変えてお試しください。

### 3 自動集計分析ソフトの「シートの構成」

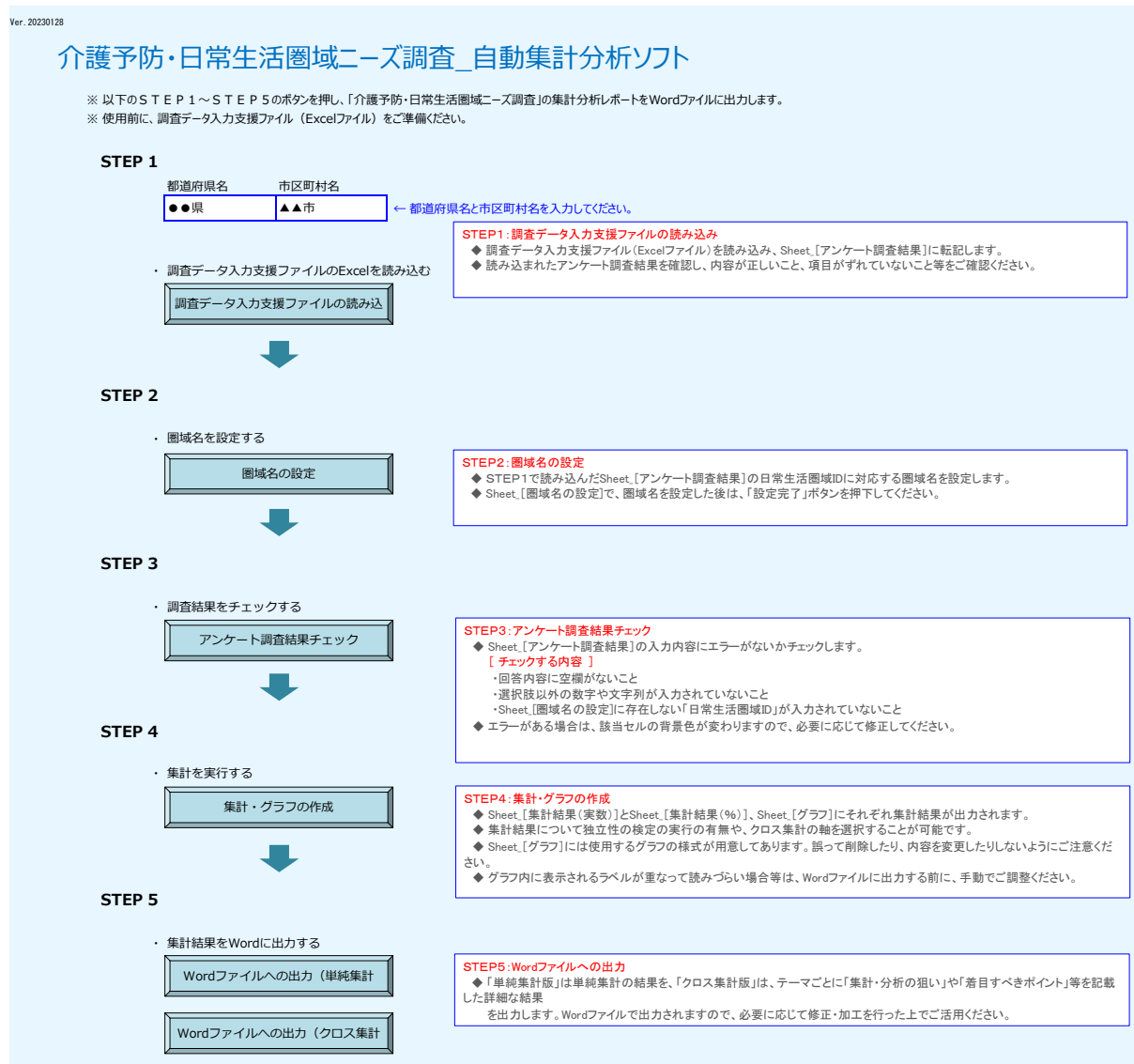
自動集計分析ソフト(Excel)は、以下の6つのシートから構成されています。

#### <シートの構成>

シートの名称	概要
◆操作シート	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ Excel マクロを実行するための、5つのボタンが配置されています。</li> <li>○ STEP1～STEP5のボタンを押すことで、介護予防・日常生活圏域ニーズ調査の「集計分析結果」を Word ファイルや PPT ファイルで出力することができます。</li> <li>○ シート上には、STEP1～STEP5の VBA を実行する際の注意点などを記載していますので、実行する前に一通り、目を通してください。</li> <li>○ 編集ロックがかかっていますので、「自治体名の入力」以外の変更を行うことはできません。</li> </ul>
アンケート調査結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 地域包括ケア「見える化」システムへの登録の際に用いる「データ入力支援」ファイルと同じフォーマットになっています。</li> <li>○ 「データ入力支援」ファイルを読み込むことで作成します。</li> </ul>
圏域名の特定	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ アンケート調査結果を「データ入力支援」ファイルから読み込むと、日常生活圏域 ID の一覧が作成されます。</li> <li>○ 日常生活圏域別の集計を行うため、圏域名を入力する必要があります。</li> </ul>
集計結果(実数)	○ 初期状態では、空白シートになっています。
集計結果(%)	○ STEP4 で集計・グラフ作成を行った際に、集計結果が入力されます。
グラフ	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 初期状態では、空のグラフが表示されています。</li> <li>○ STEP4 で集計・グラフ作成を行った際に、集計結果が表示されます。</li> <li>○ 初期状態で表示されているグラフについて、誤って削除や参照先の変更等をしないようにご注意ください。</li> </ul>

Sheet\_ [◆操作シート]には、STEP1～STEP5のボタンが配置されており、順番にボタンを押すことで介護予防・日常生活圏域ニーズ調査の「集計分析結果」を Word ファイルや PPT ファイルで出力することができます。

### <「◆操作シート」の画面>



## 4 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査自動集計分析ソフト\_利用マニュアル

### ① STEP1:「データ入力支援」の読み込み

- STEP1では、地域包括ケア「見える化」システムへの登録の際に用いる「データ入力支援」ファイルを読み込み、Sheet\_「アンケート調査結果」に転記します。
- Sheet\_「◆操作シート」でボタンを押し、データが読み込まれたら、Sheet\_「アンケート調査結果」に正確にデータが転記されていることを確認してください。

### ② STEP2:圏域名の設定

- Sheet\_「◆操作シート」でボタンを押すと、Sheet\_「圏域名の設定」が表示されます。シートの2(B)列には、STEP1で読み込んだデータにおける日常生活圏域IDが一覧形式で表示されるので、シートの3(C)列に日常生活圏域IDに対応する圏域名を入力してください。
- 本ステップで圏域名を入力しない場合は、STEP4～STEP5の集計・集計結果の出力において、圏域IDをそのまま圏域名として使用します。

<STEP2(Sheet\_「圏域名の設定」)>

	A	B	C	D
1				
2				
3				
4			設定完了	
5				
6	No.	日常生活圏域ID	圏域名	
7	1	1000000	北部	
8	2	1000002	中部	
9	3	1000003	南部	
10	4	1000004	東部	
11	5	1000005	西部	
12	6			
13	7			
14	8			
15	9			
16	10			

日常生活圏域IDに応じた圏域名を入力

### ③ STEP3:調査結果の確認

- Sheet\_「◆操作シート」でボタンを押すと、Sheet\_「アンケート調査結果」に転記されたデータにエラーがないかチェックします。

#### ④ STEP4:集計の実行

- Sheet\_ [◆操作シート]でボタンを押すと、集計が実行され、集計結果が Sheet\_ [集計結果(実数)], Sheet\_ [集計結果(%)], Sheet\_ [グラフ]に出力されます。
- 集計は、単純集計とクロス集計を同時に実行します。クロス集計に用いる軸は「圏域名」「要介護度区分」「世帯類型」「年齢」「性別」の5つから選択することが可能です。
- また、集計時には、独立性の検定の実行の有無を選択できるようになっています。独立性の検定とは、クロス集計を行った際に、分類基準の間(例えば、異なる要介護度間)の集計結果に関連があるかどうかを、統計的に検証するものです。以下の報告書の P.51～53 に説明がございますので、ご参照ください。なお、以下の報告書にも記載していますが、検定結果はあくまで参考情報としてご覧ください。

(参考資料)

[平成 30 年度 老人保健健康増進等事業「要介護認定データを活用した地域分析手法に関する調査研究事業」,三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社 \(P.51～53\)](#)

#### ⑤ STEP5:集計結果の出力(WORD)

- Sheet\_ [◆操作シート]でボタンを押すと、介護予防・日常生活圏域ニーズ調査の「集計分析結果」を Word ファイルで出力することができます。